

八幡仏教会報

第13号

発行所
岐阜県郡上市八幡町
八幡仏教会

発行責任者
会長 浅野真頭

八幡仏教会ホームページ
<http://www.8butsu.jp>

阿弥陀さまの本願

八幡仏教会会長 浅野真頭

日頃は八幡仏教会の活動にたいしまして、深いご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、お釈迦様のお誕生日をお祝いする「花まつり」も行うことができず残念であります。今年は何とか「八幡十三ヶ寺めぐり暁天の集い」「灯籠流し」は行いたいものです。

阿弥陀さまの本願についてお話しします。お釈迦さまがお教えくださる阿弥陀さまというみ仏様の元の願いが本願です。

阿弥陀さまは私たちの頭では計り知ること

のできない尊い命の親さま、大み親さまです。

法然上人は阿弥陀仏と衆生(生きとし生ける我々)は親子のごとしとおっしゃっています。子どもが親に甘えるように阿弥陀さまに甘えてくれというのが阿弥陀仏の本願です。たとえば子どもが池にはまったら、親はすぐみでも池に飛び込んでわが子を救います。自分の命を捨てても必ずわが子を救ってやりたい、幸せにしてやりたいという願いが本願、親心です。

南無阿弥陀仏の「南無」は、インドの

言葉で「どうぞお願いします」「お任せします」という意味です。「お父ちゃんお母ちゃん、どうぞ助けてお願いします。お任せします」と我々が叫んだら、何があっても阿弥陀さまは本願、親心によって必ず私たちを極楽へ救ってくださいます。そして、法然上人は、お念仏ひとつで亡き方もともども救われてまいりますとお言葉をくださっています。

亡き人のために念仏を回向すれば、阿弥陀さまが知恵と慈悲の光を放ち、亡き人の苦しみが休まって、寿命が過ぎたのち、解きほぐされるのです。煩惱、悪がほどけるのです。「ほどける」が「仏」です。

コロナで亡くなられた方々のために念仏のご回向、そして自分自身必ず極楽へ往生させていただくと信じ切って、これからの人生をいっそう充実して有意義に生き生かさされてまいりたいものです。

億劫

八幡仏教会教化広報部長

服部 貢一郎

お経の中には様々な数字や単位が出てきますが、時間を表す単位で一番長いものが「劫」と言われるものです。

ほぼ無限に近い時間を意味する単位ですが、どれくらい長いか・・・像阿含経という経典には「四十里四方の石山があり、この石山を天人の羽衣で百年に一度撫でて、擦り切れて石山が無くなって一劫は終わらない」とあります。想像を絶する長時間の事なのです。

皆さまご存じの落語の寿限無では「ジユゲムジユゲム、ゴコウノスリキレ・・・」と続きますが、「ゴコウノスリキレ」は「五劫の擦り切れ」の事で、一劫でも無限のように長い時間を、さらに五倍にした時間の事なのです。とてもとても長い時間を意味する言葉なのです。

一劫でも五劫でも、とてつもなく長い時間ですが、さらに長く、一億倍すると、「億劫(おっくう)」となります。

面倒くさいことを、「そんなこと億劫でやっとなん」と言った風に使いますが、よくよく考えてみると、その面倒なことは、劫を一億倍するほど

大それた事でないことがほとんど思います。どうしてもやる必要があるけど、面倒で気が進まないときは、億劫の言葉の意味を思い出すと、一歩踏み出す事ができるかもしれませぬ。

令和四年度

寺めぐり 暁天の集い 予定表

七月二十八日(木)	洞泉寺	八月三日(水)	悟竹院
七月二十九日(金)	慈恩寺	八月四日(木)	浄因寺
七月三十日(土)	願連寺	八月五日(金)	長敬寺
七月三十一日(日)	最勝寺	八月六日(土)	大乘寺
八月一日(月)	善光寺	八月七日(日)	連勝寺
八月二日(火)	安養寺	八月八日(月)	楊柳寺

※朝六時頃開始、三十分程度

令和三年度

主な事業報告

五月五日(水)

花祭り

中止

七月二十八日(火)～八月九日(日)

暁天の集い

八月十七日(火)

灯籠流し

中止

九月十六日(木)

追弔会

(寺院・役員のみで開催)

※コロナ禍のため主な行事を中止しました。

令和四年度

主な事業予定

五月五日(木)

花祭り

中止

七月下旬

暁天の集い

八月十七日(水)

灯籠流し

九月十六日(金)

追弔会

令和四年度役員

令和四年度の役員は、次のとおりです(順不同)。ご苦勞様ですがよろしくお願いたします。

会長	浅野 真顕 (洞泉寺)
副会長	千葉 譲 (長敬寺)
	玉腰 秀樹 (淨因寺)
	餌取 評八
事務局長	稲村 隆元 (悟竹院)
会 計	本田 あけ美
総務部長	山下 健一
事業部長	服部 純一
教化広報部長	服部 貢一郎 (善光寺)
監 事	筒井 淳美
	和田 勝介
理 事	川上 朝史
	加藤 一朗
	清水 俊夫
	大前 三郎
	加藤 克久
	浜口 民男
寺 院	石神 真 (願蓮寺)
	川岸 承翁 (楊柳寺)
	楠 智広 (安養寺)
	高橋 教雄 (大乘寺)
	多田 克次 (最勝寺)
	東 理隆 (慈恩寺)
	中島 密慈 (遍照殿)
	毛利 諦信 (蓮生寺)

町内世話人(七月十四日現在)

上 桜町	田尻 浩	下 日吉町	大前 三郎
下 桜町	酒井 雄一朗		朝日 令子
上 柳町	野田 礼行		古田 博之
中 柳町	長尾 和生		篠田 節子
上 柳町	三原 慎也		和田 美智也
中 柳町	酒井 重一		鷺見 光義
下 柳町	山内 幸彦		庄村 保徳
職 殿町	天野 健吾		藤田 雅也
鍛冶屋町	横枕 良一		池戸 健一
大 手町	田中 眞理		河合 宏幸
本 町	川上 朝史		日置 進
肴 町	加藤 一朗		熊田 裕准
上 尾崎町	谷合 美昭		坪井 純一
下 尾崎町	細江 儀憲		服部 純一
向 京山	池戸 弘明		加藤 克久
左 京町	小林 功		服部 純一
常 盤町	楠一三男		加藤 克久
北 朝日町	青木 寿生		鷺見 宏康
南 朝日町	井上 さち子		田中 清美
上 愛宕町	本田 あけ美		青木 秀人
中 愛宕町	坪井 實		中西 保幸
川 原町	筒井 淳美		松井 勝行
立 原町	清水 克彦		西村 光晴
乙 姫町	川端 憲彦		大坪 重弘
山 本町	山下 健一		白滝 明久
東 町一区	高垣 昌幸		足立 正浩
東 町二区	和田 洋一		野田 修司
橋 本町	吉田 新一郎		小林 豊人
新 本町	清水 俊夫		浜口 民男
稲 荷町	大谷 務		平瀬 忠寿
大 坂町	和田 勝介		兼山 勝治
上 日ノ出町	小坂 和史		岡崎 稔
下 日ノ出町	森下 祐司		大久保 秀継
上 日吉町	山田 保雄		加藤 建夫
			清水 芳子
			酒井 智義
			三島 修
			鎌倉 要一
			後藤 千廣
			餌取 評八

令和4年度八幡仏教会予算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

【収入の部】

科目	前年度実績	予算額	備考
繰越金	1,253,660	1,513,412	
会費収入	628,000	625,000	@500×1,250戸分
事業収入	6,000	250,000	
内訳	花まつり	0	コロナ禍により中止
	灯籠流し	0	灯籠申し込み@2,000×100基分
	追弔会	6,000	志納金ほか
	暁天の集い	0	
雑収入	12	0	
積立金取り崩し	0	0	
合計	1,887,672	2,406,412	

【支出の部】

科目	前年度実績額	予算額	備考
事業部費	87,300	450,000	
内訳	花まつり	0	コロナ禍により中止
	灯籠流し	0	ポスター、チラシ供物、布施、供物等
	追弔会	55,500	布施、供物等
	暁天の集い	31,800	ポスター、チラシ、13ヶ寺めぐり啓蒙費等
総務部費	0	0	
教化広報費	53,900	60,000	サーバ利用料、会報
事務費	97,060	100,000	通信費、事務用品等
会議費	5,000	84,000	世話人会、常任理事会、懇親会等
渉外費	113,000	150,000	市仏教会費、倉庫土地借料等
備品費	0	100,000	
予備費	0	1,462,412	
次年度繰越金	1,531,412	0	
合計	1,887,672	2,406,412	

《あとがき》
 コロナによる自粛が続きました。ようやく郡上踊りも開催されることになり、少しずつコロナ前の郡上八幡に戻りつつあります。ありがたいことです。
 八幡仏教会報へのご意見、ご要望等ございましたら、柳町 善光寺までご連絡ください。次回の参考にさせていただきます。(せ)

令和3年度八幡仏教会収支決算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

【収入の部】

科目	予算額	決算額	増減	備考
繰越金	1,253,660	1,253,660	0	
会費収入	651,500	628,000	△23,500	2年度分25戸分含
事業収入	360,000	6,000	△354,000	
内訳	花まつり	0	0	コロナ禍により中止
	灯籠流し	240,000	0	△240,000 コロナ禍により中止
	追弔会	60,000	6,000	△54,000 志納金
	暁天の集い	60,000	0	△60,000
雑収入	0	12	12	預金利息
積立金取り崩し	0	0	0	
合計	2,265,160	1,887,672	△377,488	

【支出の部】

科目	予算額	決算額	増減	備考	
事業部費	160,000	87,300	72,700		
内訳	花まつり	0	0	コロナ禍により中止	
	灯籠流し	30,000	0	30,000 コロナ禍により中止	
	追弔会	70,000	55,500	14,500	会場謝礼、布施等
	暁天の集い	60,000	31,800	28,200	チラシ、皆勤賞16
総務部費	0	0	0		
教化広報費	50,000	53,900	△3,900	サーバ利用料、会報	
事務費	80,000	97,060	△17,660	通信費、事務用品等	
会議費	50,000	5,000	45,000	常任理事会	
渉外費	150,000	113,000	37,000	市仏教会費 倉庫土地借料等	
備品費	100,000	0	100,000		
予備費	1,675,160	0	1,675,160		
小計	2,265,160	356,260	1,908,900		
繰越金	0	1,531,412	1,531,412		
合計	2,265,160	1,887,672	377,488		

積立金	定期貯金	1,151,192(元利合計額)	
-----	------	------------------	--

上記のとおり報告します。
 令和4年3月29日 八幡仏教会 会計 本田 あけ美

監査の結果 正確であることを認めます。
 令和4年3月29日 八幡仏教会 監査 筒井 淳美
 監査 和田 勝介